



2019年4月25日
中部電力株式会社

2019年度 引込線および内線工事請負契約の工量単価について

日頃は、弊社事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、電力事業にご理解いただき、安定供給のためにご尽力くださり、重ねてお礼申し上げます。

さて、弊社の2018年度業績予想については、燃料費の削減効果や、ベースコストの効率化などにより、燃料費調整制度の期ずれ差損を除いた連結経常利益は1,600億円を見込んでおり、経営目標である「連結経常利益1,500億円以上」を達成できる見通しとなっております。

一方、足元の収支は、販売の競争激化や新しい成長分野に向けた戦略的な投資などにより、非常に厳しい状況であると認識しており、更なる経営効率化の深掘りや収支拡大施策などの取り組みを進めているところです。

また、本契約を取り巻く環境におきましても、2020年度の送配電事業の法的分離の動向によって大きく変化していくこと、料金審査専門会合において、託送料金を最大限抑制すべく、外部識者の評価が今後いっそう厳しくなっていくことなどが予想されます。

以上の弊社および本契約を取り巻く環境や至近の建設業に係わる労務単価の状況など諸々の情勢を総合的に勘案するとともに、日頃の皆さまのご尽力に報いるべく、2019年度の工量単価につきましては、以下のとおりとさせていただきます。

○2019年度工量単価

298.0円/工量 (2018年度単価比0.4%のアップ)

以 上